

総評

数学がたいへん難しく、全体としてもやや難しめの出題でした。

入試や道コンのような総合問題は、学校の定期テストにくらべて出題範囲が広いので、難しく感じる人が多いかもしれませんが、問われているのは基本的な内容が中心です。攻略するには、基礎・基本の定着と、場面に応じて知識や技術を活用する訓練とが欠かせません。これからは、実践的な問題にも少しずつ取り組んで、活用する力をつけていきましょう。

入試問題の半分以上は、1・2年の学習内容で解くことのできる問題ですから、この範囲を復習し、定着させておくことはたいへん重要です。スムーズに受験勉強を始めるために、1・2年内容を完璧にしておきましょう。

国語

標準的な出題でした。

㊦の漢字の書きはやや難しい出題で、送り仮名がつく漢字の書き問題の得点率がやや低くなっています。同訓異字語を中心に、送り仮名がつく漢字も忘れずに練習しましょう。㊧は、全体的によくできていました。㊨は、問六の得点率が低くなりました。語尾が「……なりたと思った。」というような、問題文で問われていることからずれてしまった解答が多く見られました。問題文で問われていることを正確に把握しましょう。㊩は、問三と問五の得点率が低くなりました。問五のような選択肢を全て選ぶ問題は、最新の入試で二題出題されました。文章に対する確かな理解がより求められます。㊪は、問一の得点率が低くなりました。基本的に、発言の最後は「と」で終わることを確認しておきましょう。

数学

予想外に得点率の低い問いがいくつもあり、平均点はたいへん低くなりました。

①は、必ず解けるようにしたい問題です。問2の不等式は中1の学習内容です。復習しましょう。作図は入試に毎年出題されます。等しい長さをうつしとるにはコンパスを使います。②問1は入試でも頻出の重要単元です。「最頻値」「累積相対度数」など用語の意味を確認しましょう。③問1は得点率が予想外に低くなりました。グラフ上の点の座標を、点Pと比較してみましょう。

④問1は、等しい角の導き方がポイントでした。2つの角が等しいと直接言えない場合は、仲立ちとなる角を探しましょう。問2は、使ってよい条件を整理できれば易しい問題。⑤はヒントの読み取りがポイントでした。入試に向けて、読解力を要する問題にも慣れましょう。

社会

標準的な出題でした。

地理分野では、①問5「セルバ」、問6「AU」などで得点率が低くなりました。また、問4は国の名を「ロシア」と書いた答案が目立ちました。②、④は比較的良好にできていましたが、②問7の記述問題は、問われたことを答えていない解答や、問題の指示に従っていない解答が目立ちました。

歴史分野では、③問7の年代並べかえ問題、⑤問3、問7の文化に関する問題で得点率が低くなりました。政治の流れは何となくわかっている、文化については苦手としている人が多いので、今のうちに、各時代の文化の特徴、代表的な作品や作者をノートなどにまとめておきましょう。

理科

標準～やや易しい難易度の出題でした。

①はどれも基本的な内容です。間違えたところや悩んだところがあれば、しっかりと復習しておきましょう。②は、難問がなかったこともあり全体によくできていました。③の問2は実験結果を読み取って計算し、さらにグラフから読み取る問題でしたが、得点率が低くありませんでした。しっかりと思考できた人が一定数いたようです。④は問1と3が基本的な内容でしたが、不正解だった人が多かったようです。しっかりと復習してください。⑤問4は、実験1の結果を利用して考えるもので難しい内容でした。⑥問4は、植物は光合成だけでなく呼吸も行っていることを意識できたかがポイントでした。⑦は、問4(2)でどのように書くべきか悩んだ人が多かったようです。

英語

やや難しい出題となりました。

①のリスニングでは、問2の英文1回読みの問題で特に得点率が低くなりました。会話文を正確に聞き取り、すぐに正しい選択肢を選ぶ力が求められます。

②は比較的良好にできていたと思います。

③A問2やB問3の英問英答の問題は、本文の内容を理解し、正しく表現することが難しかったようです。

④の自由英作文は全体的に得点率が低くなりました。(1)～(3)それぞれの条件に従いながら、スペルミスや文法ミスを含まない英文を書くようにしましょう。

今回の英語は初めての入試形式での出題ということもあり、まだ慣れていない人が多かったと思います。次回以降のテストで確実に得点できるよう、間違えた問題を中心にしっかりと復習をしましょう。